

令和8年度群馬県歯科技工士会生涯研修

(自由研修課程)

日時

令和8年8月30日(日)

10:00～13:00(受付9:30～)

会場

K'BIXまえばし福祉会館(前橋市総合福祉会館)社会適応訓練室

プリントデンチャー時代、歯科技工士の価値はどこにあるのか

ーアナログとデジタルの融合が導く未来ー

有限会社 小澤デンタルラボラトリー
代表取締役 小澤 謙太先生



【受講料】

会員・会員に充当するもの無料
会員以外 3,000円

【申込み方法】QRコードまたはFAX

<https://forms.gle/xnPEeHZfED2UbsvH8>



【申込締切】 令和8年8月26日

**** FAXからのお申し込みはこちらです ****

参加申込書

群馬県歯科技工士会 FAX 027-254-4327

お名前(ふりがな)

☐ 会員 (会員番号:) ☐ 会員外

☐ 歯科技工士 ☐ 歯科医師 ☐ 歯科衛生士 ☐ その他 ()

【勤務先名】

【ご連絡先】 電話番号 () FAX 番号 ()

mail @

【ご住所】 〒 -

小澤 謙太先生抄録

近年、歯科医療のデジタル化は急速に進み、IOS（口腔内スキャナー）の普及やCAD/CAM技術の発展、さらには3Dプリンターを活用したデジタルデンチャーの保険導入など、歯科技工を取り巻く環境は大きな変革期を迎えている。一方で、歯科技工士の高齢化や人材不足は深刻化しており、従来の手法や働き方だけでは持続的な歯科技工の提供が難しくなりつつある。

しかし、デジタル化は単なる効率化や省力化のためのものではない。繰り返し作業や属人化した工程を見直し、歯科技工士が本来発揮すべき設計力や判断力、創造力により多くの時間を注ぐための手段である。

本講演では、プリントデンチャーをはじめとしたデジタル技工の実際や導入事例を紹介するとともに、アナログ技術とデジタル技術をどのように融合させ、日々の業務や人材育成に活かしていくかについて考察する。また、技術継承や品質の標準化、働き方の変革といった観点から、これからの歯科技工士に求められる役割についても触れる。

変化の時代だからこそ、私たちは単に補綴装置を「つくる」だけでなく、新たな価値を「創る」存在でありたい。アナログとデジタルの融合によって、これからの歯科技工士が発揮すべき価値と果たすべき役割について提言したい。

※お昼休憩はありません

※日技会員は生涯研修当日「歯科技工士生涯研修カード」の持参をお願いします



お問い合わせ先

公益社団法人群馬県歯科技工士会事務所

前橋市江田町593-1 2-D

mail : gun-gi@bay.wind.ne.jp TEL : 027-254-4341

